



協働コーディネーター育成講座  
「これからの地域づくり、まちづくり」

テーマ『NPO と地域の交流で地域力 UP!』  
講師 守本 尚子氏 (プロセスコンサルタント)

詳しい資料は「ふらっと」に有ります。

【第1回 1月21日(日)9:30~12:00】 (参加者 32名 市内4地域のグループワーク)

- ① お互いの活動を知る⇒特徴、得意分野、足りない部分、連携できる相手を見付け、自分の活動も再発見する
- ② 袋井市の現状を知る ■人口増加率 ■15歳未満人口割合 ■15~64歳人口割合 ■普通出生率 ■経営耕地面積 ■特定健診受診率の6部門で県下1位、2025年には74歳以下の人口が減少し税収減、市民に対する市職員数減、福祉費増などの問題が生じる。
- ③ 2025年に向けて地域課題解決の為に⇒今何が出来るか、どうしたいか、どうすればよいか地域との「つながり」を考えよう
- ④ 地域の心配事の書き出し⇒課題への対策、対応⇒実際にできている活動  
☆自分の活動が課題解決にどう「つながって」いるか、どんな「つながり」が解決に有効か
- ⑤ 「協働コーディネーター」の視点を持とう：課題解決に向けてのアイデア  
取り組み、連携を[お互いの活動を知り交流する]⇒対策、活動⇒地域力UP



この企画が「絵に描いた餅」にならないように!

ふらっとの来年度の課題として検討予定

【第2回 2月4日(日)9:30~12:30】 <課題解決の企画作成> (参加者 25名)

- ① 前回の振り返り ・袋井市の2025年問題に「今何が出来るか」  
・袋井市のすがたと意識調査 (資料参照)
- ② 前回ワークの整理 ・各自の活動位置を確認 (地域性&専門性)

課題を絞る = 必要な事、人、物 = 目標、効果 = できる事、体制 = 実施に向けた課題



	袋井北部	袋井西、東	袋井南部	浅羽、笠原
題	「花」のある地域づくり	みんなの居場所づくり	地域の「つながり」作り	高齢者の生活支援
目的	・耕作放棄地解消 ・交流の場づくり	・空家の有効活用 ・交流の場づくり	あらゆる世代が活動できる場所づくり	高齢者の移動手段の確保と生活支援
内容	耕作放棄地の整備と花壇作り	・子ども食堂・栽園 ・高齢者の縁側 他	若者の声を反映したコミュニティ運営	高齢者世帯の家事移動などの支援
体制	農業法人、農家、NPO 企業に協力支援頂く	自治会、企業、NPO の連携	まちづくり協議会と若者、コーディネーター	隣人同士の共助、デマンドタクシー導入
障	選定、人材確保、施設	管理運営、PR、選定	若者の自覚と関心	事故、人材確保

袋井市協働まちづくりセンター「ふらっと」

〒437-0022袋井市方丈3-5-11 TEL/FAX 0538-43-6315

月~金9:00~13:00 土日祝10:00~12:00スタッフ在駐

メールアドレス flat520@bz01.plala.or.jp

ホームページ [http://www.geocities.jp/furatto\\_2006/](http://www.geocities.jp/furatto_2006/)

